

李登輝・前台湾総統、9月訪日へ

2006年08月19日13時07分

台湾の李登輝(リー・トンホイ)前総統は19日、9月12日から17日までの日程で訪日することを明らかにした。「純粹に観光及び文化交流を目的とする」としている。中国政府が「台湾独立派」と強く批判する李氏の訪日は、04年12月末から05年1月初めにかけて名古屋、金沢、京都などを訪れて以来となる。



台湾の李登輝・前総統

松尾芭蕉の「奥の細道」をたどる旅をかねて希望していた李氏は、当初は5月の訪日を予定していたが、体調を崩したため延期していた。今回は宮城県など東北地方中心に訪問する見通し。

李氏は13日、9月には日本の新政権が発足するため「訪日時期が適切かどうか慎重に検討する」と述べていた。

日本政府は李氏の訪日について「一般観光客としての扱いで、政治活動はしないと理解しており拒否する理由はない」(外務省筋)と容認する方針だ。